

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2009-179984

(P2009-179984A)

(43) 公開日 平成21年8月13日(2009.8.13)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
E O 4 F 15/10 (2006.01)	E O 4 F 15/10 1 O 4 B	2 E 2 2 O
E O 4 F 15/16 (2006.01)	E O 4 F 15/16 C	3 B 1 2 O
A 4 7 G 27/02 (2006.01)	A 4 7 G 27/02 1 O 1 A	

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号	特願2008-18943 (P2008-18943)	(71) 出願人	000233239
(22) 出願日	平成20年1月30日 (2008. 1. 30)		日立機材株式会社
			東京都江東区東陽二丁目4番2号
		(74) 代理人	100087712
			弁理士 山木 義明
		(72) 発明者	小林 淳彦
			埼玉県熊谷市三ヶ尻5110番地 日立機材株式会社関東製作所内
		(72) 発明者	内田 真人
			東京都江東区東陽二丁目4番2号 日立機材株式会社内
		Fターム(参考)	2E220 AA09 AA15 AA26 AA39 AB08
			AC03 BA01 BA26 BC04 CA07
			DA02 DB09 FA01 FA02 GA22X
			GA24X GA25Y GA27X GB34X
			3B120 BA02 BA07 BA28 DB10 EB22

(54) 【発明の名称】 タイルカーペット

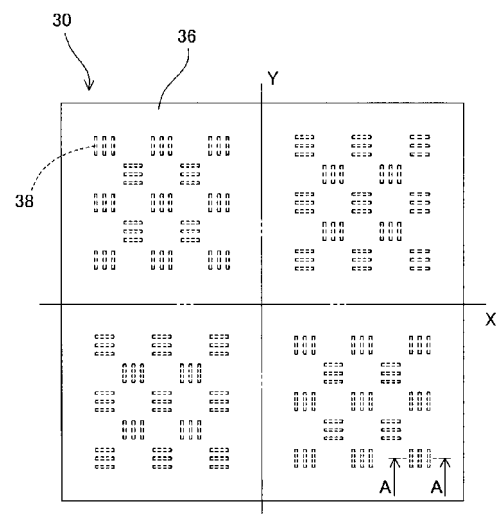
(57) 【要約】

【課題】 その厚さ方向に通る空気の流速が小さくなったり、通気孔に汚れや目詰まりが生じたり、見栄えが悪くなるのを防止することができるタイルカーペットを提供する。

【解決手段】 複数の貫通孔44を有するパネル部材42の上面に載置して用いられるタイルカーペット30であって、複数のパイル繊維34で構成されるパイル層36と、前記パイル繊維34の複数部分が保持されるバックینگ層32とを備え、少なくとも前記バックینگ層32を貫通する複数のスリット状の通気孔38を形成した。

【効果】 その厚さ方向に通る空気の流速が小さくなったり、通気孔に汚れや目詰まりが生じたり、見栄えが悪くなるのを防止することができる。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の貫通孔を有するパネル部材の上面に載置して用いられるタイルカーペットであって、

複数のパイル繊維で構成されるパイル層と、
前記パイル繊維の複数部分が保持されるバックキング層とを備え、
少なくとも前記バックキング層を貫通する複数のスリット状の通気孔を形成した
ことを特徴とするタイルカーペット。

【請求項 2】

前記通気孔は、加工深さの調整が可能なレーザー加工により形成されたことを特徴とする請求項 1 に記載のタイルカーペット。

10

【請求項 3】

前記通気孔が所定領域内に密集して形成されたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のタイルカーペット。

【請求項 4】

少なくとも前記通気孔の一部を前記パネル部材の貫通孔の一部と連通させたことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載のタイルカーペット。

【請求項 5】

隣接する他のタイルカーペットとの間の目地を前記パネル部材相互間の目地とずらして配置したことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載のタイルカーペット。

20

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、床上にタイルを貼るように並べて配置されて用いられるタイルカーペットに関し、特に、その厚さ方向に空気が通るための通気孔を有するタイルカーペットに関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来のタイルカーペットとしては、例えば、図 9 に示すようなものがあった（第 1 の従来のタイルカーペット）。同図は、従来のタイルカーペット 2 が載置された通気性支持床 4 の一部を示す部分拡大断面図である。同図に示すように、通気性支持床 4 には、複数の通気孔 6 が形成されている（例えば、特許文献 1 参照）。

30

【0003】

上記従来のタイルカーペット 2 は、カーペット層 1 2 とバックキング層 1 0 とで構成される 2 層構造になっている。このタイルカーペット 2 のカーペット層 1 2 は、例えば、厚さ方向に通気性を有するシート材に、実質的にカーペットを構成する繊維を植毛したような状態のカーペットにより構成され、このようなカーペット層 1 2 の上記シート材がバックキング層 1 0 の上面に、部分的に塗布される接着剤により貼付けられている。これによりタイルカーペット 2 は、その厚さ方向に通気性を有するようにしていた。

【0004】

40

タイルカーペット 2 のバックキング層 1 0 は、粉碎して形成された異形の、粒径 2 mm から 5 mm 位の多数のウレタンゴムのチップを周りから押し固めて、予じめそのチップの表面に塗布しておいたウレタン樹脂系のバインダーを加熱溶融させ、その溶融したバインダーを介して互いにチップ同士を付着させることにより、異形のチップ間に空隙ができるように形成したものである。

【0005】

このようなタイルカーペット 2 と、このタイルカーペット 2 が載置された通気性支持床 4 によれば、これらが敷設された部屋において、この通気性支持床 4 の下側の空間に連通する不図示のエアーダクト等を設置することにより、この不図示のエアーダクト等から送り出される温度等が調整された空気を、通気性支持床 4 の通気孔 6 及びタイルカーペット

50

2のカーペット層12の細い通気孔とバックキング層10の異形のチップ間を通して、タイルカーペット2上の室内空間に空気を供給するような、室内空間の空調を行うことができるようになっていた。

【0006】

また、図10は、上記第1の従来のタイルカーペット2とは異なる別のタイルカーペット16（第2の従来のタイルカーペット）と、このタイルカーペット16が載置された通気性支持床18の一部を示す部分拡大断面図である。同図に示すように、通気性支持床18には、やはり複数の通気孔20が形成されている。

【0007】

また、上記第2の従来のタイルカーペット16は、パイル繊維等により構成されたパイル層24と、そのパイル繊維の複数部分を保持するバックキング層22とで構成される、2層構造になっている。パイル層24のパイル繊維の複数部分、すなわち、パイル繊維の互いに連続した複数のループ形状の折れ曲り連結部分は、バックキング層22の表層部に保持されている。

【0008】

このようなタイルカーペット16は、そのパイル層24とバックキング層22の両方を貫通して連通する、水平断面が丸孔形状の複数の通気孔26が、水平面において互いに略等間隔をおいて配置されて形成されている。

【0009】

このようなタイルカーペット16と、このタイルカーペット16が上面に載置された通気性支持床18によれば、上記した第1の従来のタイルカーペット2と通気性支持床4との組み合わせと同様に、これらが敷設された部屋において、この通気性支持床18の下側の空間に連通する不図示のエアダクト等を設置することにより、この不図示のエアダクト等から送り出される温度等が調整された空気を、通気性支持床18の通気孔20及びタイルカーペット16の通気孔26を通して、やはりタイルカーペット16上の室内空間に空気を供給するような、室内空間の空調を行うことができるようになっていた。

【特許文献1】特公平8-29124号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0010】

しかしながら、上記第1の従来のタイルカーペット2においては、バックキング層10における互いに付着したチップ間の微細な空隙が空気が通るようになっていたため、このタイルカーペット2をその厚さ方向に空気が通る際の抵抗が大きいので、空調を行う場合の時間当りの空気流量が少ない（流速が小さい）ため、タイルカーペット2上の室内温度が設定温度に達するまでに時間がかかるという問題があった。

【0011】

また、上記従来のタイルカーペット2においては、バックキング層10のチップ間の空隙は目が細かいわずかなものであるため、小さなゴミでも目詰まりしたり、重量物を載せた際につぶれてしまったりするという問題があった。

【0012】

また、上記第2の従来のタイルカーペット16においても、通気孔26が水平断面が丸孔形状のため、やはり、その通気孔26にゴミが溜まることにより目詰まりを生じ易いという問題があった。

【0013】

また、上記第2の従来のタイルカーペット16においては、複数の通気孔26をパンチング加工により形成していたので、バックキング層22の表層部に設けられているパイル層24のパイル繊維がほつれ易いと共に、パンチング加工が可能となる丸孔の通気孔26の径は目視で明瞭に判別できる程度の大きさになってしまうため、通気孔26がゴミ溜りとなるおそれがあると共に、タイルカーペット16の見栄えが悪くなるという問題があった。

。

10

20

30

40

50

【0014】

そこで本発明は、上記問題点に鑑みて、その厚さ方向に通る空気の流速が小さくなったり、通気孔に汚れや目詰まりが生じたり、見栄えが悪くなるのを防止することができるタイルカーペットを提供することを課題とするものである。

【課題を解決するための手段】

【0015】

上記課題を解決するために、本発明によるタイルカーペットは、複数の貫通孔を有するパネル部材の上面に載置して用いられるタイルカーペットであって、

複数のパイル繊維で構成されるパイル層と、
前記パイル繊維の複数部分が保持されるバックキング層とを備え、
少なくとも前記バックキング層を貫通する複数のスリット状の通気孔を形成したことを特徴とするものである。

10

【0016】

また、本発明によるタイルカーペットは、
前記通気孔が、加工深さの調整が可能なレーザー加工により形成されたことを特徴とするものである。

【0017】

また、本発明によるタイルカーペットは、
前記通気孔が所定領域内に密集して形成されたことを特徴とするものである。

20

【0018】

また、本発明によるタイルカーペットは、
少なくとも前記通気孔の一部を前記パネル部材の貫通孔の一部と連通させたことを特徴とするものである。

【0019】

また、本発明によるタイルカーペットは、
隣接する他のタイルカーペットとの間の目地を前記パネル部材相互間の目地とずらして配置したことを特徴とするものである。

30

【発明の効果】

【0020】

このような本発明のタイルカーペットによれば、
複数の貫通孔を有するパネル部材の上面に載置して用いられるタイルカーペットであって、

複数のパイル繊維で構成されるパイル層と、
前記パイル繊維の複数部分が保持されるバックキング層とを備え、
少なくとも前記バックキング層を貫通する複数のスリット状の通気孔を形成したことにより、

水平面内においてある程度の大きさの空隙面積を確保できるため、そのタイルカーペットとパネル部材の厚さ方向に通る空気の流速（流量）の著しい低下を防止できる。

40

【0021】

また、本発明のタイルカーペットによれば、通気孔がゴミ溜りとなることを防止できるため、スリット状通気孔の全体が目詰まりを生ずることはない。

また、通気孔をスリット状に形成したため通気孔が目立たなくできて、タイルカーペットの見栄えが悪くなるのを防止することができる。

【0022】

また、本発明のタイルカーペットによれば、
前記通気孔が、加工深さの調整が可能なレーザー加工により形成されたことにより、
前記通気孔を容易にスリット状に形成することができると共に、

50

加工深さの調整により前記パイル層のパイル繊維までレーザー加工しないようにして、パイル繊維にほつれが生じるのを防止することができる。

【0023】

また、本発明のタイルカーペットによれば、
前記通気孔が所定領域内に密集して形成されていることにより、
その厚さ方向に通る空気の流量を水平面内において局所的に増加させることができる。

【0024】

また、本発明のタイルカーペットによれば、
少なくとも前記通気孔の一部を前記パネル部材の貫通孔の一部と連通させたことにより、

10

、
タイルカーペットとパネル部材の厚さ方向に通る空気を、確実に、また円滑に流すことができる。

【0025】

また、本発明のタイルカーペットによれば、
隣接する他のタイルカーペットとの間の目地を前記パネル部材相互間の目地とずらして配置したことにより、

隣接するパネル部材の辺と辺の間の空隙からその厚さ方向に空気が流れた場合でも、タイルカーペットの目地が汚れることを防止できる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0026】

20

以下、本発明に係るタイルカーペットを実施するための最良の形態について、図面に基
づいて具体的に説明する。

図1から図7は、本発明の第1の実施の形態に係るタイルカーペット30について説明
するために参照する図である。

【0027】

本実施の形態に係るタイルカーペット30は、図1に示すように、その平面形状が四辺
形に形成されている。このタイルカーペット30は、図2に示すように、塩化ビニール等
により形成されたバックینگ層32と、パイル層36とを備えた2層構造に構成されてい
る。

【0028】

30

すなわちタイルカーペット30は、図3に詳細に示すように、パイル繊維34の複数部
分、すなわち、パイル繊維34の互いに連続した複数のループ形状の折れ曲り連結部分
が、バックینگ層32の表層部に保持されるように構成されている。

【0029】

また、タイルカーペット30のバックینگ層32には、図7にも示すように、複数の通
気孔38が形成されており、タイルカーペット30の平面形状において、その長さに比
べて遥かに狭い幅を有するスリット状に形成されている。

【0030】

換言すれば、複数の通気孔38のそれぞれは、図3に示すように、バックینگ層32を
その厚さ方向に貫通するように形成されている。この複数の通気孔38は、その加工深
さを調整することができるレーザー加工により形成することができる。すなわち、
レーザー加工によりバックینگ層32の厚さと同じ深さで、複数の通気孔38を、
バックینگ層32だけに形成することができる。

40

【0031】

このように、複数の通気孔38は、バックینگ層32だけに形成されて、パイル層36
には形成されないと共に、通気孔38は長さに比べて遥かに狭い幅を有するスリット
状に形成されていることにより、図3に示すように、通気孔38はパイル層36を構成
するパイル繊維34に覆われて目立たないようになっている。このため、図1におい
ては、目立たない通気孔38は破線により描かれている。

【0032】

50

このため、パイル層 36 を構成するパイル繊維 34 を省略して、バック層 32 だけを示すと、図 7 に示すようになる。同図においては、パイル繊維 34 を省略して示しているので、複数の通気孔 38 が目立つように実線で示されている。

【0033】

また、図 1 に示すように、タイルカーペット 30 の四辺形の平面領域を、仮想線 X, Y により図中縦横 2 列に配置される、同じ大きさの 4 つの四辺形に区切ったそれぞれの領域の中央部分には、複数の通気孔 38 が密集して形成されている。つまり、複数の通気孔 38 は、タイルカーペット 30 の所定領域内に密集して形成されるようになっている。

【0034】

次に、このような本実施の形態に係るタイルカーペット 30 が、どのように用いられるかについて説明する。

図 4 は、部屋内に設置されたフリーアクセスフロア 50 の一部の領域と、このフリーアクセスフロア 50 上に敷設された複数のタイルカーペット 30 の一部を示す一部平面図である。

【0035】

ここで、図 4 は、便宜上、フリーアクセスフロア 50 上の一部領域において、タイルカーペット 30 が敷設されていない状態を示しているが、実際にはタイルカーペット 30 は、フリーアクセスフロア 50 上の広さ全体にわたって敷設されている。

【0036】

また、図 4 中において、タイルカーペット 30 のそれぞれの複数の通気孔 38 は、図面の複雑化を防止するために、図示していない。また、フリーアクセスフロア 50 の、後述するパネル部材 42 の複数のパネル貫通孔 44 も、やはり、図面の複雑化を防止するために、図示していない。

【0037】

フリーアクセスフロア 50 は、水平面上に縦横に互いに隣り合うように整列して配置される複数のパネル部材 42 と、このパネル部材 42 の四隅のそれぞれを下側から支持する複数の支持脚 52 を備えて構成されている。これにより、フリーアクセスフロア 50 は、そのパネル部材 42 の下側に床下空間を有するようになっている。このフリーアクセスフロア 50 の床下空間には、不図示のエアーダクトが連通しており、温度等が調整された空気が供給されるようになっている。

【0038】

また、フリーアクセスフロア 50 のパネル部材 42 のそれぞれは、図 5 に示すように、その平面形状が、図 1 に示すタイルカーペット 30 の平面形状と同じ大きさの四辺形となるように形成されている。また、パネル部材 42 は、図 6 に示すように、一定の厚さを有する板状に形成されている。

【0039】

また、このパネル部材 42 には、図 5 に示すように、その厚さ方向に貫通する複数の、長孔状のパネル貫通孔 44 が形成されている。パネル部材 42 の複数のパネル貫通孔 44 は、図 1 に示すタイルカーペット 30 の、図 7 に示すバック層 32 の通気孔 38 と同様に、図 5 に示すパネル部材 42 の四辺形の平面領域を、仮想線 X, Y により縦横 2 列に配置される同じ大きさの 4 つの四辺形に区切ったそれぞれの領域の、中央部分に密集して形成されている。

【0040】

図 4 に示すように、複数のタイルカーペット 30 は、フリーアクセスフロア 50 上にあって、縦横に互いに隣り合うように整列して配置されている。これら複数のタイルカーペット 30 のそれぞれは、図 1 に示すように、複数の通気孔 38 が形成された領域以外の、仮想線 X, Y のそれぞれを含むような十字状の領域と、四辺形の平面形状における四辺の各辺に沿う周縁部分とを足し合わせた領域、すなわち、漢字の「田」の字状の領域において、そのバック層 32 (図 2 参照) が接着剤又は両面接着テープ等により、図 4 に示すフリーアクセスフロア 50 のパネル部材 42 の上面に接着して固定されている。

【0041】

図5においても同様に、パネル部材42は、複数のパネル貫通孔44が形成された領域以外の、仮想線X、Yのそれぞれを含むような十字状の領域と、四辺形の平面形状における四辺の各辺に沿う周縁部分とを足し合わせた領域、すなわち、やはり漢字の「田」の字状の領域において、そのパネル部材42（図7参照）が接着剤又は両面接着テープ等により、図4に示すタイルカーペット30のバックング層32の下面に接着して固定されるようになっている。

【0042】

また、複数のタイルカーペット30間の目地は、フリーアクセスフロア50におけるパネル部材42間の目地と、その四辺形の平面形状の各辺の丁度半分の長さ分だけ、前記各辺の縦横両方向のそれぞれに平行方向にずらして配置されている。

10

【0043】

これにより、タイルカーペット30は、フリーアクセスフロア50のパネル部材42間の目地を上方から塞ぐようになっていると共に、図7に示すバックング層32の通気孔38の密集領域のそれぞれが、図5に示すようなパネル部材42のパネル貫通孔44の密集領域のそれぞれと、互いに重なり合うようになっているので、通気孔38の一部とパネル貫通孔44の一部を連通させることができる。

【0044】

図4に示すタイルカーペット30の上方の室内空間には、フリーアクセスフロア50の床下空間から供給される空気が、このフリーアクセスフロア50におけるパネル部材42のパネル貫通孔44（図5参照）、及びタイルカーペット30の通気孔38（図1参照）を通して吹き出すようになっている。

20

【0045】

このような本実施の形態に係るタイルカーペット30によれば、複数のスリット状の通気孔38がバックング層32に形成されていることにより、水平面内においてある程度の大きさの空隙面積を確保できるため、そのタイルカーペット30とパネル部材42の厚さ方向に通る空気の流速（流量）の著しい低下を防止することができる。

【0046】

また、通気孔38がゴミ溜りとなることを防止できるため、上記スリット状の通気孔38の全体が目詰まりを生ずることを防止することができる。

30

また、通気孔38のスリットの幅が長さよりもはるかに狭いので、図3に示すように、通気孔38の上方をパイル繊維34が覆って通気孔38が目立たなくなるので、タイルカーペット30の見栄えが悪くなるのを防止することができる。

【0047】

また、本実施の形態に係るタイルカーペット30によれば、その通気孔38がレーザー加工により形成されていると共に、その加工深さをバックング層32の厚さと同じ寸法になるよう加工できることにより、パイル層36のパイル繊維34まではレーザー加工をしないため、パイル繊維34のループ形状の一部が破損してほつれが生じるのを防止することができる。

【0048】

また、本実施の形態に係るタイルカーペット30によれば、通気孔38が、所定領域内に密集して形成されていることにより、その厚さ方向に通る空気の流量を水平面内において局所的に増加させることができるので、その所定領域内における、タイルカーペット30の厚さ方向に通る空気の流速が小さくなることを防止することができる。

40

【0049】

また、タイルカーペット30は、図1に示すように、その通気孔38が所定領域内に密集して形成されているので、このような通気孔38が密集する所定領域以外の他の領域、すなわち、漢字の「田」の字状の領域において、このタイルカーペット30のバックング層32を接着剤や接着両面テープ等によりフリーアクセスフロア50に接着することができるため、接着剤や接着両面テープ等が通気孔38を塞いでしまうことを防止することが

50

できる。

【0050】

また、本実施の形態に係るタイルカーペット30によれば、その通気孔38が密集して形成されている所定領域以外の他の領域、すなわち、漢字の「田」の字状の領域において、このタイルカーペット30のバックング層32を接着剤や接着両面テープ等によりフリーアクセスフロア50に接着するようになっているので、タイルカーペット30をフリーアクセスフロア50上に固定する際の作業効率を向上させることができる。

【0051】

また、本実施の形態に係るタイルカーペット30によれば、タイルカーペット30を、複数のパネル貫通孔44を有するパネル部材42の上面に配置し、タイルカーペット30の通気孔38の一部と、パネル貫通孔44の一部とを連通させたことにより、タイルカーペット30とパネル部材42の厚さ方向に通る空気を、確実に、また円滑に流すことができる。

10

【0052】

また、本実施の形態に係るタイルカーペット30によれば、タイルカーペット30とパネル部材42を互いに、それぞれの四辺形の各辺同士を、各辺の半分の長さ分ずつずらして配置することにより、タイルカーペット30間の目地に汚れが生じることを防止することができる。

【0053】

次に、図8は、本発明の第2の実施の形態に係るタイルカーペット60について説明するために参照する図である。前記第1の実施の形態に係るタイルカーペット30と同様の部分には同じ符号を用いて説明し、同様の構成についての重複する説明は省略するものとする。

20

【0054】

本実施の形態に係るタイルカーペット60には、図8の左右方向の中央部に、上下方向の2本の二点鎖線で示すように、パイル層36とバックング層32の両方をそれらの厚さ方向に貫通するような、複数の通気孔62が形成されている点において、前記第1の実施の形態と異なるものである。

【0055】

本実施の形態に係るタイルカーペット60は、前記第1の実施の形態に係るタイルカーペット30と全く同様の態様で 사용할 ことができる。すなわち、本実施の形態に係るタイルカーペット60は、前記第1の実施の形態に係るタイルカーペット30と同様に、図4に示すようにフリーアクセスフロア50のパネル部材42の上に敷設することができる。

30

【0056】

このような本実施の形態に係るタイルカーペット60によれば、前記第1の実施の形態と略同様の効果を得ることができる。

また、本実施の形態に係るタイルカーペット60によれば、コストの高いレーザー加工を用いなくとも、コストの安いプレス加工などにより加工できるので、その製造コストを安くすることができる。

40

【0057】

なお、前記第1及び第2の実施の形態に係るタイルカーペット30、60は、図4に示すように、互いに隣り合うように縦横に整列して配置されるとき目の地が、フリーアクセスフロア50のパネル部材42の目地と、各辺の半分の長さだけずれるようになっていたが、そのずれる量は任意に設定することができる。或は、タイルカーペット30とパネル部材42の目地が一致するように配置されていてもよい。

【0058】

また、前記実施の形態においては、図1、7に示すように、スリット状の通気孔38を縦横二方向に伸びるように配置していたが、そのスリット状の通気孔は、一方向のみに伸びるように、或は、三方向以上に伸びるように配置してもよい。

50

【0059】

また、前記第1の実施の形態に係るタイルカーペット30は、その複数の通気孔38が、レーザー加工により形成されるようになっていたが、その加工深さが調整できるものであれば、プレスを用いたパンチング加工等の他の加工方法により形成されていてもよい。

【0060】

また、前記第1の実施の形態においては、図1に示すように、タイルカーペット30の四辺形の平面領域を、仮想線X、Yにより図中縦横2列に配置される、同じ大きさの4つの四辺形に区切ったそれぞれの領域の中央部分に、複数の通気孔38が密集して形成されている場合について説明したが、タイルカーペット30の一部、例えば、図1の4つの四辺形に区切られた4つの領域の右上4分の1の四辺形の領域のみに密集させてもよい。

10

【0061】

すなわち、タイルカーペット30に形成される通気孔38は、フリーアクセスフロア50の使用上における、タイルカーペット30の必要な箇所の領域のみに限定して、密集させて配置されるようにしてもよい。

【0062】

また、前記パネル部材42に形成されるパネル貫通孔44も、フリーアクセスフロア50の使用上における、パネル部材42の必要な箇所の領域のみに限定して、密集させて配置されるようにしてもよい。

【0063】

また、前記第1及び第2の実施形態においては、本発明のタイルカーペットをフリーアクセスフロアに適用した場合について説明したが、本発明のタイルカーペットはフリーアクセスフロア以外の他の物に対して適用することもできる。

20

【図面の簡単な説明】

【0064】

【図1】本発明の第1の実施の形態に係るタイルカーペット30を示す平面図である。

【図2】図1に示すタイルカーペット30の側面図である。

【図3】図2に示すタイルカーペット30の部分拡大断面図である。

【図4】図1に示すタイルカーペット30をフリーアクセスフロア50のパネル部材42の上に敷設した状態を示す一部平面図である。

【図5】図4に示すパネル部材42の1枚のみを示す平面図である。

30

【図6】図5に示すパネル部材42の側面図である。

【図7】タイルカーペット30のバックキング層32のみを示す平面図である。

【図8】本発明の第2の実施の形態に係るタイルカーペット60の部分拡大断面図である。

【図9】第1の従来タイルカーペット2、及び通気性支持床4を示す部分拡大断面図である。

【図10】第2の従来タイルカーペット16、及び通気性支持床18を示す部分拡大断面図である。

【符号の説明】

【0065】

40

2 タイルカーペット

4 通気性支持床

6 通気孔

10 バックキング層

12 カーペット層

16 タイルカーペット

18 通気性支持床

20 通気孔

22 バックキング層

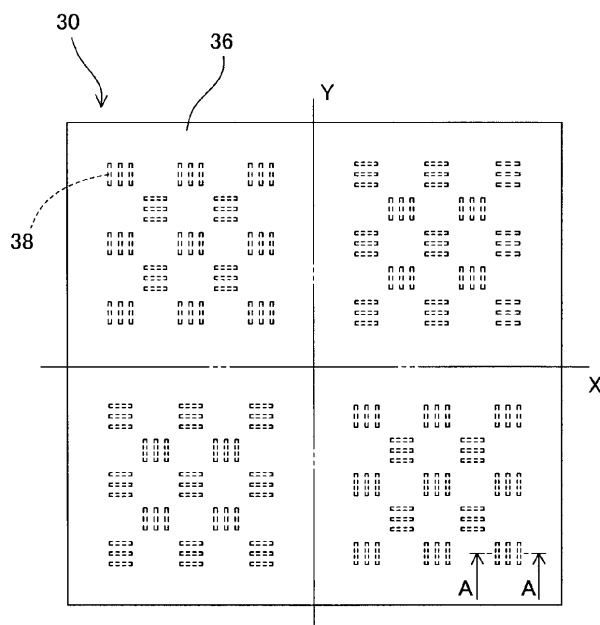
24 カーペット層

50

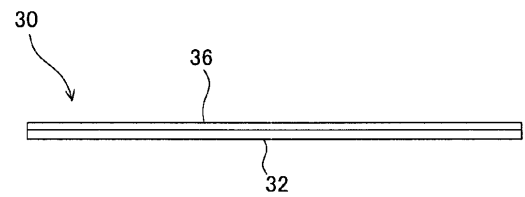
- 2 6 通気孔
- 3 0 タイルカーペット
- 3 2 バックینگ層
- 3 4 パイル繊維
- 3 6 パイル層
- 3 8 通気孔
- 4 2 パネル部材
- 4 4 パネル貫通孔
- 5 0 フリーアクセスフロア
- 5 2 支持脚
- 6 0 タイルカーペット
- 6 2 通気孔

10

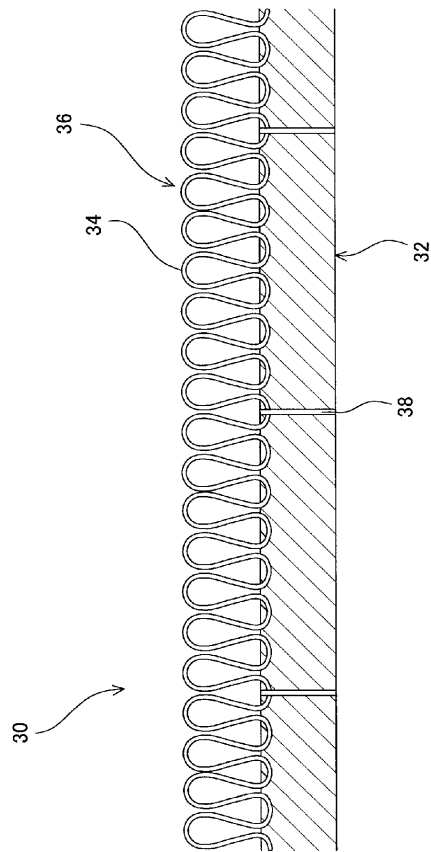
【図 1】



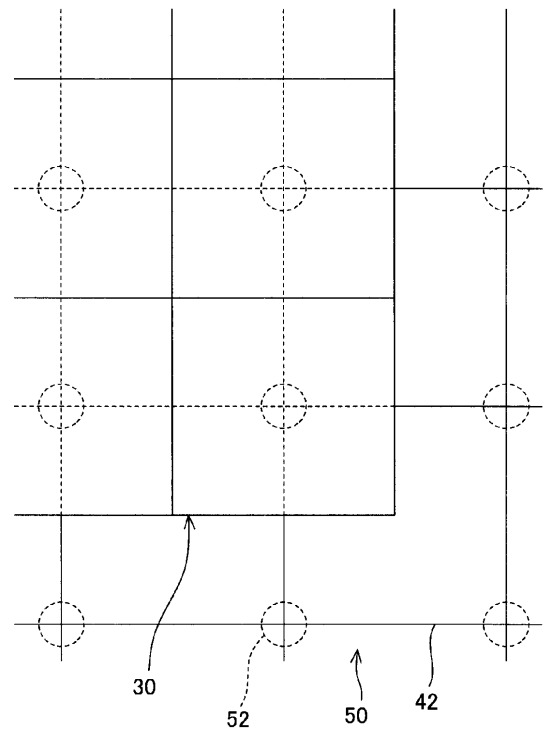
【図 2】



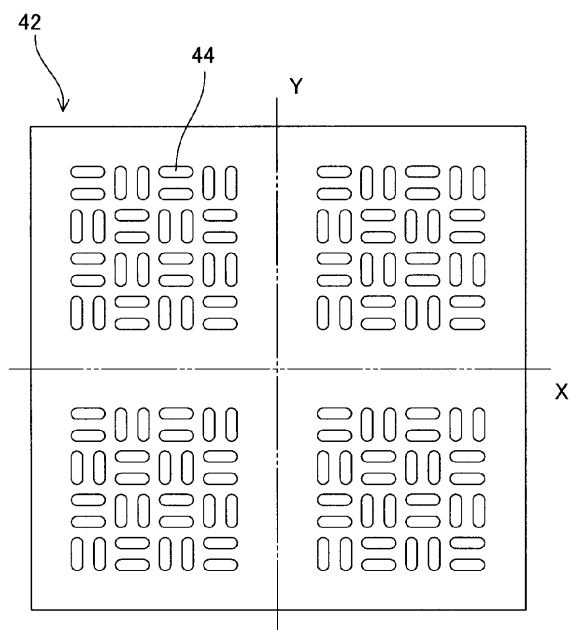
【図 3】



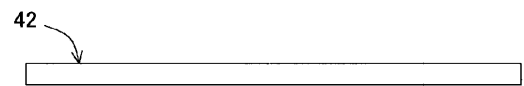
【図 4】



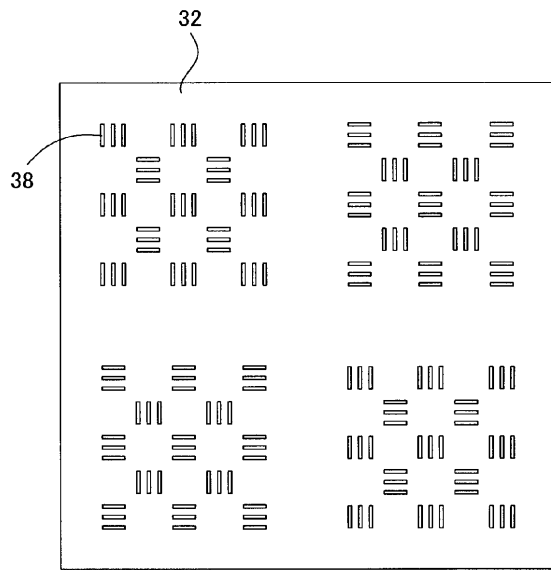
【図 5】



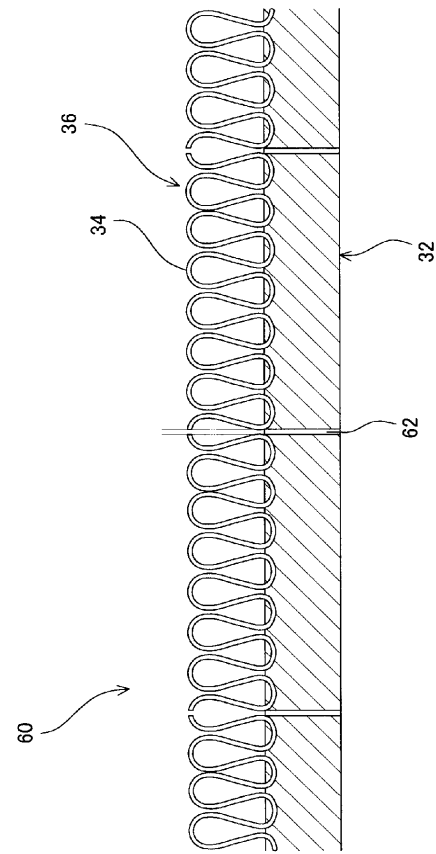
【図 6】



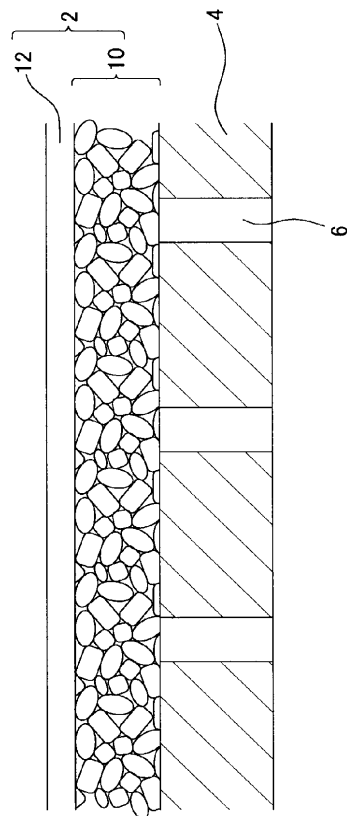
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【図 10】

